



2022年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES
 コード番号 3563 URL <https://www.food-and-life.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水留 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 小河 博嗣 TEL 06-6368-1001
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績 (2021年10月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	71,601	20.3	5,469	△22.0	5,255	△21.1	3,389	△17.2	3,388	△17.3	3,963	△4.9
2021年9月期第1四半期	59,529	6.8	7,008	44.9	6,656	41.8	4,091	35.0	4,098	35.2	4,167	24.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	29.23	29.07
2021年9月期第1四半期	35.31	35.19

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年9月期第1四半期	293,823	63,009	63,003	21.2
2021年9月期	296,001	63,573	63,569	21.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2022年9月期	—	—	—	—	—
2022年9月期 (予想)	—	0.00	—	22.50	22.50

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年9月期の連結業績予想 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	28.7	21,000	△8.3	19,000	△12.0	12,000	△8.5	12,000	△9.0	103.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期1Q	116,069,184株	2021年9月期	116,069,184株
② 期末自己株式数	2022年9月期1Q	410,448株	2021年9月期	248株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年9月期1Q	115,910,960株	2021年9月期1Q	116,049,736株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報)	10
(販売費及び一般管理費)	12
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、10月には新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が解除され、段階的に経済活動が正常化しつつあったものの、新たな変異株の発生等その収束時期の目途は未だ立たず、先行き不透明な状況は続いております。

外食業界におきましても、同様に新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、引き続き厳しい状況になっております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客様の生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んでまいりました。

また、業態別店舗数は以下のとおりであります。

[当社グループ業態別店舗数]

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	当第1四半期連結会計期間末
国内：スシローブランド (テイクアウト専門店)	610 (15)	16 (5)	—	626 (20)
国内：杉玉ブランド(FC)	39 (6)	6 (3)	—	45 (9)
国内：京樽ブランド	154(—)	4	1	157(—)
国内：回転寿司みさき・三崎丸ブランド	106(—)	—	1	105(—)
国内：その他ブランド	29(—)	—	1	28(—)
国内合計	938 (21)	26 (8)	3	961 (29)
海外：スシローブランド (テイクアウト専門店)	59 (1)	5 (1)	—	64 (2)
海外：その他ブランド	2(—)	—	—	2(—)
海外合計	61 (1)	5 (1)	—	66 (2)
国内外合計	999 (22)	31 (9)	3	1,027 (31)

() 内はテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益71,601百万円（前年同期比20.3%増）、営業利益5,469百万円（前年同期比22.0%減）、税引前四半期利益5,255百万円（前年同期比21.1%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益3,388百万円（前年同期比17.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(国内スシロー事業)

国内スシロー事業につきましては、10月からの緊急事態宣言解除を受け、飲食店に対する営業時間や酒類の提供時間の短縮といった要請も10月下旬にかけて各都道府県で徐々に解除されました。コロナ禍からの早期回復に向けた取り組みとして、国内スシローでは、「GoTo超スシローPROJECT第一弾」で、黄皿100円（税込110円）が「禁断の90円セール」（税込99円、平日15時以降）の実施や、「GoTo超スシローPROJECT第二弾」で、「生ビールジョッキ半額セール」（平日限定）等を行いました。

また、コロナ禍で増加したテイクアウト・デリバリー需要に対応するため、デリバリー対象店舗を更に拡大すると共に、テイクアウト専門店の新規出店も継続的に行いました。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は57,491百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は4,829百万円（前年同期比34.0%減）となりました。

(海外スシロー事業)

海外スシロー事業につきましては、コロナウイルスの再拡大による飲食店への営業規制が各国・地域において続く中、2021年9月に初出店した広州（中国本土）では、11月に2号店をオープンしました。その他の地域においても、アフターコロナを見据えて、香港+1店舗、シンガポール+1店舗、タイ+2店舗と、継続的に新規出店をしました。

また、コロナ禍で営業規制はあるものの、来店客数の維持・拡大に向けて、大とろ祭（台湾）や、歳末大感謝祭（香港）等、魅力的な販促・マーケティング施策を各地域で実施しました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は7,493百万円（前年同期比111.8%増）、セグメント利益は379百万円（前年同期セグメント損失227百万円）となりました。

（京樽事業）

京樽事業につきましては、合併後のシナジー創出を目的とし、京樽テイクアウト専門店のグランドメニューの刷新や、スシローとのWブランドへの転換を進めました。2021年11月には、既存の回転すし業態を「回転寿司みさき」としてリブランディングするなど、売上向上に向けた取り組みを進めました。テイクアウト事業向け商品の製造を担う「京樽 セントラルキッチン」では、稼働率の向上や、当社グループのテイクアウト事業への商品の供給を目指して、江戸前寿司製造ラインの整備も行いました。これらに加え、本社組織の統合、その後の業務の統合もすすめるなど、シナジー創出に向けた施策に取り組んでいます。

以上の結果、京樽事業の売上収益は5,708百万円（前年同期比 - %）、セグメント損失は527百万円（前年同期比 - %）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

（資産）

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,178百万円減少し、293,823百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,646百万円減少し、43,195百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が4,957百万円、営業債権及びその他の債権が1,564百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3,469百万円増加し、250,628百万円となりました。これは主に、新店出店等により有形固定資産が2,681百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,614百万円減少し、230,814百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2,218百万円減少し、57,641百万円となりました。これは主に、営業債務及びその他の債務が3,742百万円増加した一方で、未払法人所得税が5,102百万円、引当金が1,601百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

非流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ605百万円増加し、173,173百万円となりました。これは主に、リース負債が1,488百万円増加した一方で、社債及び借入金が997百万円減少したこと等によるものであります。

（資本）

資本合計は、前連結会計年度末に比べ564百万円減少し、63,009百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により2,612百万円減少、自己株式の取得により2,020百万円減少した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により3,388百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4,957百万円減少し、24,411百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、8,139百万円（前年同期比38.3%増）となりました。

これは主に、税引前四半期利益5,255百万円、減価償却費及び償却費5,234百万円の計上、営業債務及びその他の債務の増加が4,225百万円、営業債権及びその他の債権の減少が1,598百万円あった一方で、法人所得税の支払額が6,896百万円、賞与引当金の減少が1,510百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4,437百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が3,711百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8,864百万円（前年同期は14,544百万円の獲得）となりました。

これは主に、リース負債の返済による支出が3,300百万円、配当金の支払額が2,567百万円、自己株式の取得による支出が1,998百万円、長期借入金の返済による支出が1,002百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月5日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、景気動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	29,367	24,411
営業債権及びその他の債権	15,004	13,440
棚卸資産	2,146	2,721
その他の金融資産	442	554
その他の流動資産	1,883	2,069
流動資産合計	48,841	43,195
非流動資産		
有形固定資産	146,554	149,235
のれん	30,541	30,541
無形資産	54,634	54,927
持分法で会計処理されている投資	1,855	2,023
敷金及び保証金	12,182	12,503
その他の金融資産	487	487
繰延税金資産	411	411
その他の非流動資産	496	502
非流動資産合計	247,159	250,628
資産合計	296,001	293,823
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	26,676	30,418
借入金	4,009	4,009
未払法人所得税	6,831	1,729
リース負債	13,115	13,500
その他の金融負債	1,419	1,294
引当金	3,377	1,776
その他の流動負債	4,432	4,914
流動負債合計	59,860	57,641
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	46	47
社債及び借入金	58,896	57,899
リース負債	96,094	97,582
その他の金融負債	86	90
引当金	3,233	3,373
繰延税金負債	14,175	14,176
その他の非流動負債	38	6
非流動負債合計	172,568	173,173
負債合計	232,428	230,814
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,755	15,724
利益剰余金	46,584	47,361
自己株式	△0	△1,971
その他の資本の構成要素	1,130	1,790
親会社の所有者に帰属する持分合計	63,569	63,003
非支配持分	4	6
資本合計	63,573	63,009
負債及び資本合計	296,001	293,823

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	59,529	71,601
売上原価	△26,267	△33,668
売上総利益	33,262	37,933
販売費及び一般管理費	△26,108	△32,889
その他の収益	95	1,323
その他の費用	△241	△898
営業利益	7,008	5,469
金融収益	46	106
金融費用	△212	△207
持分法による投資損益 (△は損失)	△186	△113
税引前四半期利益	6,656	5,255
法人所得税費用	△2,565	△1,865
四半期利益	4,091	3,389
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,098	3,388
非支配持分	△7	1
四半期利益	4,091	3,389
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	35.31	29.23
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	35.19	29.07

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	4,091	3,389
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	75	574
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値に係る純 変動の有効部分	1	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	76	574
税引後その他の包括利益	76	574
四半期包括利益	4,167	3,963
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,174	3,962
非支配持分	△7	1
四半期包括利益	4,167	3,963

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2020年10月1日時点の残高	100	15,747	35,156	△0	△95	50,908	13	50,920
四半期利益			4,098			4,098	△7	4,091
その他の包括利益					76	76	△0	76
四半期包括利益合計	—	—	4,098	—	76	4,174	△7	4,167
新株予約権の失効			3		△3	—		—
株式に基づく報酬取引		8			57	65		65
配当金			△1,741			△1,741		△1,741
所有者との取引額合計	—	8	△1,738	—	53	△1,676	—	△1,676
2020年12月31日時点の残高	100	15,755	37,516	△0	35	53,406	5	53,412

当第1四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2021年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2021年10月1日時点の残高	100	15,755	46,584	△0	1,130	63,569	4	63,573
四半期利益			3,388			3,388	1	3,389
その他の包括利益					574	574	0	574
四半期包括利益合計	—	—	3,388	—	574	3,962	1	3,963
自己株式の処分		△11		29	△5	13		13
自己株式の取得		△20		△2,000		△2,020		△2,020
株式に基づく報酬取引					91	91		91
配当金			△2,612			△2,612		△2,612
所有者との取引額合計	—	△31	△2,612	△1,971	86	△4,527	—	△4,527
2021年12月31日時点の残高	100	15,724	47,361	△1,971	1,790	63,003	6	63,009

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,656	5,255
減価償却費及び償却費	4,125	5,234
減損損失	210	797
金融収益	△42	△82
金融費用	212	206
賞与引当金の増減額 (△は減少)	370	△1,510
敷金及び保証金の家賃相殺額	70	67
持分法による投資損益 (△は益)	186	113
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△3,588	1,598
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△635	△566
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,756	4,225
その他	△708	△115
小計	8,611	15,221
利息及び配当金の受取額	1	4
利息の支払額	△169	△189
法人所得税の支払額	△2,558	△6,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,885	8,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,355	△3,711
無形資産の取得による支出	△154	△380
定期預金の預入による支出	△291	—
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△425	△367
投資有価証券の取得による支出	△52	—
その他	25	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,252	△4,437
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	19,918	—
長期借入金の返済による支出	△1,042	△1,002
リース負債の返済による支出	△2,637	△3,300
支払手数料の支払による支出	△6	△1
自己株式の取得による支出	—	△1,998
配当金の支払額	△1,694	△2,567
その他	5	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,544	△8,864
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,177	△5,162
現金及び現金同等物の期首残高	12,665	29,367
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	205
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,854	24,411

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「賞与引当金の増減額(△は減少)」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より、区分掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた△338百万円は、「賞与引当金の増減額(△は減少)」370百万円、および「その他」△708百万円として組み替えております。

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

当社グループは、前連結会計年度までは、すし事業の単一セグメントのみとしていましたが、当第1四半期連結会計期間より「国内スシロー事業」、「海外スシロー事業」、「京樽事業」及び「その他事業」に変更することに致しました。

これは事業展開、経営資源の再配分及び経営管理体制の実態の観点から事業セグメントを検討した結果、「FOOD & LIFE COMPANIES 2022年-2024年 中期経営計画」における重点事業として、上記のと通りの報告セグメントへの変更に至ったものであります。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

京樽事業：株式会社京樽が運営する全ブランド(主要ブランド「京樽」・「回転寿司みさき」・「海鮮三崎港」)

その他事業：株式会社FOOD & LIFE INNOVATIONS が運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

また、京樽事業は、2021年4月1日より当社グループの連結子会社となった株式会社京樽及びその子会社2社に係る事業セグメントであり、前第1四半期連結累計期間においては当社グループにおける実績数値はありません。

②報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スロ ー事業	海外スロ ー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	55,521	3,538	—	471	59,529	—	59,529
セグメント間 収益	32	—	—	—	32	△32	—
計	55,553	3,538	—	471	59,561	△32	59,529
セグメント利益 又は損失(△は損 失)(注) 1	7,319	△227	—	△217	6,875	134	7,008
その他の項目							
減価償却費及 び償却費	3,462	517	—	73	4,052	72	4,125
減損損失	30	96	—	84	210	—	210

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額134百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年10月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スロ ー事業	海外スロ ー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	57,424	7,493	5,708	977	71,601	—	71,601
セグメント間 収益	68	—	—	—	68	△68	—
計	57,491	7,493	5,708	977	71,669	△68	71,601
セグメント利益 又は損失(△は損 失)(注) 1	4,829	379	△527	△233	4,449	1,019	5,469
その他の項目							
減価償却費及 び償却費	3,842	840	384	86	5,152	82	5,234
減損損失	292	72	303	130	797	—	797

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,019百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
従業員給付費用	16,035	19,062
減価償却費及び償却費	4,116	5,212
水道光熱費	1,114	1,486
支払手数料	688	1,112
その他	4,155	6,017
合計	26,108	32,889

(1株当たり利益)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益(百万円)	4,098	3,388
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	4,098	3,388
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	4,098	3,388
基本的期中平均普通株式数(株)	116,049,736	115,910,960
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に用いられた普通株式増加数(株)	399,498	645,163
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	116,449,234	116,556,123
基本的1株当たり四半期利益(円)	35.31	29.23
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	35.19	29.07
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(資金の借入)

当社は、2022年2月10日開催の取締役会決議に基づき、以下の金銭消費貸借契約を締結いたしました。

- (1) 借入先 株式会社三井住友銀行
- (2) 借入額 総額200億円
- (3) 借入金利 固定金利
- (4) 借入実行日 2022年2月28日
- (5) 返済期日 2027年2月28日
- (6) 財務制限条項

- ・各連結会計年度末における連結財政状態計算書における資本合計の金額を、2021年9月期末日における金額の50%に相当する金額以上に維持すること。
- ・各連結会計年度における連結損益計算書に記載される税引前利益を2期連続して損失としないこと。